

# 南丹教育局 NEWS

平成 29 年 6 月 28 日 発行 第 177 号

## —平成 29 年度 南丹地区社会教育委員連絡協議会総会・研修—



宝積会長の挨拶



来賓の木上南丹教育局長の祝辞

6月12日(月)平成29年度南丹地区社会教育委員連絡協議会総会及び研修会が開催されました。

平成28年度事業報告や決算報告、平成29年度役員体制や事業計画・予算等について承認され、いよいよ本格的に今年度の活動がスタートしました。



議長の南丹市・北村委員



全体進行の京丹波町・澤井委員

平成 29 年度役員体制		
会 長	宝 積 玄 承	亀 岡 市
副会長	中 野 昭	京丹波町
理 事	前 田 厚 子	亀 岡 市
理 事	中 野 愛 子	南 丹 市
理 事	清 水 範 子	南 丹 市
理 事	澤 井 安 子	京丹波町
監 事	工 藤 和 之	亀 岡 市
監 事	竹 岡 順 子	亀 岡 市

### 【講演】演題「地域がかわり こどもがかわり 未来がかわる」

講師 京都府更生保護女性連盟 会長 齋藤 <sup>ときこ</sup>常子 さん

総会の後半は、研修が実施され、京都府更生保護女性連盟会長の齋藤常子さんが御講演されました。

齋藤さんは、子育てをされながら、ガールスカウトで指導されたり、PTA会長をされたりしたのち、保護司になられ、現在の立場で活躍されています。

罪を犯した方の立ち直り支援(川下の支援)をするだけでなく、人が罪を犯さないようにする支援(川上の支援)の重要性等について話してくださいました。

その川上の支援として、地域での子どもの居場所づくりのために取り組まれている様子を紹介していただきました。そうして関わっている子どもが齋藤さんに言った「信じられる大人になってほしい」という言葉が忘れられないという出来事についても話してくださいました。

講演後はグループごとに討議し、講演から社会教育委員として活かせること等について話し合われました。



日頃の活動をもとに講演される齋藤さん



講演から学んだこと、これから活かせることを話し合いました。

### 【参加者からの感想】

- ・素晴らしい取組をされている中で、川下の支援は無理でも川上の支援はできるのではないかと思います。
- ・社会教育委員の一人として、地域の活動に積極的にに関わり、信頼される社会教育委員を目指してがんばりたいと思った。
- ・子どもを育むのは、地域であり家庭であり学校であるので、社会教育委員として常にアンテナを張り巡らせ、非行に走る前に家庭を見守るきっかけを作ればと改めて感じた。